

ヤマメのつかみ取りに子供たちが歓声

神戸川(所原地区)広域基幹河川改修工事

平成20年6月30日



【神戸川 ヤマメのつかみ取りについて】

6月12日に、出雲市所原町桜の神戸川河原でヤマメのつかみ取りがおこなわれました。地元コミュニティセンターの主催で行われたもので、朝山小学校と朝山幼稚園の子供たち約160名が歓声をあげました。



主催者のねらいの一つが「魚を通じて川に親しむ気持ちを育てる。」ことであり、つかみ取りの前に漁協の方から神戸川に住む魚の話があり、先生からは一昨年の豪雨の話や川の水を汚さないようにする話などがありました。

捕まえられたヤマメはその場で父兄たちにより塩焼にされ、おにぎりといっしょに子供たちに振る舞われました。

学校周辺は平成18年7月の梅雨前線による豪雨で神戸川が越水し、甚大な被害を受けた地域です。その際には、子供たちの通う小学校や幼稚園も泥水にまみれました。県は被災直後から広域基幹河川改修事業により災害に耐え得る河道断面や堤防の改修を進めており、学校や今回のつかみ取りを行った付近は、今年度中にほぼ概成する予定です。

